

事務局だより

I 第2回役員会

- 一 日時 令和六年八月四日(日) 十三時〜
- 二 場所 富山県民会館 五〇一号室
- 三 議題 秋季吟行俳句大会等

II 秋季吟行俳句大会

- 一 期日 令和六年九月二十九日(日)
- 二 会場 高岡市生涯学習センター五〇三号室
高岡市末広町一八ウイング・ウイング高岡内、JR
高岡駅2Fデッキ高岡中央駐車場3Fと空中歩廊でつ
ながれています。(1時間無料・割引装置利用)
- 三 吟行地 句会場近くの古城公園や大仏、山町筋等
- 四 参加費 千円(当日会場受付時に支払い)
- 五 日程 十時〜 受付 短冊二枚交付
十一時五〇分 投句締切
十三時〜 開会・選句・披講
十四時四〇分〜 シンポジウム形式
で合評一時間(パネラー:会長・顧
問・副会長 司会:事務局長)
十五時四〇分〜 表彰式

結社・句会だより(結社誌名順)

- 【海原】
◇海原富山支部は通信句会を実施、継続中。
- 【寒潮】
◇現代俳句誌「寒潮」三三〇号〜三三二号発行
◇寒潮 結社内の「大沢野俳句会」の七名が当地に

ある「ゆくとりあ越中」のロビーにおいて、三月のヶ月間、作品展示会を開催しました。

値上りは誰の所為でふ春愁ひ 二口わこう
冬月夜「賢治の列車」遠ざかる 数井 晴美

【喜見城】

- ◇俳誌「喜見城」八八八号〜八九一号発行
- ◇令和六年花見吟行会を開催。日時:三月三十日(土)
- 場所:新川文化ホール 参加者十九名
- 一位 挨拶はげんこつタッチ土手桜 下野マサ子
- 二位 色褪せし赤き水門花三分 布本 美知
- 川音は花の蕾の子守唄 渡辺 啓子
- 入選 まだ固き花の苔の色灰と 宮崎あつ子
まだギョッと寒さが詰まる蕾かな 大久保置箔
なかなかに蕾かたしや花曇 川上 美佐

【峡谷】

- ◇俳誌「峡谷」第六七号発行
- ◇峡谷年次俳句大会(予定)
日時:六月十四日(金) 場所:宇奈月公民館

【玄鳥】

- ◇俳句誌「玄鳥」六月号 三五四号発行
- ◇玄鳥の結社賞「玄鳥賞」を跡治順子さんが受賞。
- ◇玄鳥岡部榮一主宰による俳句教室を六月二十三日
高志の国文学館にて開催。

◇「玄鳥」推薦句

- 折鶴の羽の尖りよ桜餅 跡治 順子
- 秋の灯の流れる水面万葉歌 松谷眞佐子
- もの申すごとく銀杏散り始め 川辺智恵子
- 水ときの水澄むように年明け 高島 詩香

【高志】

- ◇俳誌「高志」五二四号〜五二八号発行

◇総会並びに高志四十四周年記念俳句大会

日時:年六月二十三日(日) 午後一時

場所:氷見市芸術文化館 事前投句 参加費:千円
【草樹】とやま草樹句会

◇会報 二〇八号〜二一三号発行

- 飛ぶ鳥に空という檻雪霏霏と 吉田 久夫
- 乾坤の呼応か冬の雷と地震 亀谷 正恵
- うららかや赤子に指を握らるる 兒堂 衣代
- 春の日や鍋の卵を転がして 飯干ゆかり
- 記憶みな行き止まりなり虎落笛 森川 敬三
- ◇飯干ゆかりが第四回富山県現代俳句協会賞を受賞。

【岳】

- ◇毎月(原則)第一水曜日に月例会。
- ◇第二水曜日俳句指導。
- ◇四月九日花見句会催行。(庄川水記念公園)

【みのり俳句会】

- ◇新年度の会員数は15名。毎月一回句会を開催。
- ◇十月には吟行句会を予定している。四月句会より
桜並木歩幅小さく母子づれ 幾島 淳隆
長老の朝寝のごとく逝きしとか 細川 正雄
初蟻の一匹舗道に影つくる 勝守 征夫
旅立ちに無口な父が風邪ひく 戸田 幸夫

【森】

- ◇月刊俳句誌「森」は三月号で通巻一六二号になつた。順調に発刊を重ねている。
- ◇主宰の森野稔が伝統ある「小林一茶忌全国俳句大会」で募集句の選者及び大会前夜祭の句会選者に指名。
- ◇今年の現代俳句カレンダー十二月号に「ふところ」に風廻らすもの求め 森野稔」が掲載されている。

富山県現代俳句協会会報

Toyama Prefecture Modern Haiku Association Newsletter

第62号

令和6年
7月1日
発行

富山県現代俳句協会

発行人 高木 昭夫
編集人 高橋 修宏
事務局 吉田 久夫
〒933-1011 小矢部市水島七六
TEL 〇七六六-六一二七七

〈新会長あいさつ〉
野に出ようではないか 会長 高木 昭夫

先達への思いと自らの力不足を感じながらも三年間の県会長に就くことになった。現代俳句協会が一般社団法人になり二年目となったが会員の減少は止まってはいる。それは本県も同様である。では世間の俳句への興味はなくなったかといえばそうではない。人々はほどほどの豊かさの中で、高齢化に見合った生活や生きがいを求めている。俳句への興味は増えるだろう。問題は受皿があるか、発信ができていくかである。ある若い女性が嘆いていた。曰く「仕事後の夜の句会がない」「土日は子供の部活で時間がとれない」など、三十四年前にはありえなかった嘆きである。いっぽうで人気番組のお陰か、興味はあるが参加はしないという人がいる。もったいない話である。「学がない」「難しそうだ」「下積みが長そうだ」という理由である。これらは全て敷居が高いという受入れ側の責任である。仲間を増やすには結社やネットを活用するのもいい。が、公民館や町内会で少人数俳句を始めるのも一手である。身近な所からやろうではないか。思わぬ出会いがあるかもしれない。各々のやり方で野に出ようではないか。

令和六年度 富山県現代俳句協会 定期総会・春季俳句大会

【定期総会】

三月三十一日(日) 午後一時から、富山県教育文化会館集会所において、富山県現代俳句協会の定期総会と春季俳句大会を開催した。出席者は四十四名。総会時点の会員は、正会員七十名、賛助会員五十四名、計百二十四名である。

総会では、物故会員及び能登半島地震での犠牲者への黙祷を捧げた後、森野稔会長の開会の挨拶があった。俳句は人が生きていくための潤滑油であり、互いに俳句を通して生き様を確認し、残りの人生を豊かにしようとして述べた。

次に、第四回富山県現代俳句協会賞の発表及び授賞式を行った。協会賞飯干ゆかりさん、準賞の河岸佳子さん・西田道代さんへの授賞を終えた後、飯干さんから挨拶があった。
続いて白井重之名譽会員を議長に選出し総会議事に入った。森川敬三事務局長から二〇二三年度の事業報告、栃原百合



子会計から同収支決算報告、幹自監事から決算幹事報告があり、それぞれ満場一致で承認した。次に、二〇二四年度の事業計画案と収支予算案を原案通り満場一致で承認した。続いて、規約の一部改正案、役員改選案が提案され、承認された。
その後、森野会長が前の役員を代表して退任の挨拶を述べた。続いて新役員が高木昭夫新会長から紹介され、総会を終えた。

【春季俳句大会】

一人一句の投句葉書を会員・賛助会員全員に郵送し、三月六日(水)を締切日として募集した。その結果総数八十五句の投句があり、総会終了後、句会出席者四十二名が一人五句の選を行った。点数を集計する間に、森野稔会長、白井重之氏、高橋修宏氏の三氏が、それぞれ選句された句について選評を行った。
その後、表彰式を行い、最後に高木昭夫新会長が閉会のあいさつを行った。

春季俳句大会 結果
(入賞・入選作品)
三月三十一日(日)
於 富山県教育文化会館



天位	乳を飲む嬰の流し目春うらら	細野 千里
地位	春風を聞き分けて居る牛の耳	八尾とおる
人位	寒晴や連山白を荒削り	山本 正子
四位	干蒲団ただそれだけの平和かな	高井由紀子
五位	春遅々と津波の痕を測量士	幹 自聲
六位	肋骨のすき間を伸ばす寒の夜	坂田 直彦
	鬼遣らい妻の病は追い出せぬ	坂田 直彦
	変らない家並信じ燕来る	吉田 憲子
七位	草の芽やすぐ小さくなる吾子の靴	河野 佳子
	辞書の「ん」の後も言葉春隣	篠井 恵子
	女の子育ててみたし桃の花	石田 英子
	ポネットの足跡いくつ猫の恋	松谷眞佐子
八位	からみ合う風のいたずら虎落笛	木下 瞳
	反戦の拳をあげる杉菜の子	中 静子
	日脚伸ぶ眼鏡かけたり外したり	跡治 順子
	見送られ大股で踏む春の土	坂田 紀枝
	春の星指揮棒置きて男逝く	西田 道代
	杖ながら一歩一歩と青き踏む	柄沢 恭子
	雨傘を揺すつて閉じるヒヤシンス	後藤みち子
	囁りも爆発も聴けば聞こえる	高島 詩香
	液状化を浚う球児ら春一番	垣内 和代
	黄帽子の間を縫うてつばめ来る	飛世 峰子
	ガザの子の深き瞳よ雪解星	久保美智子

作者の思い

天位 乳を飲む嬰の流し目春うらら

細野 千里

近頃めつたに目にする事のない赤ちゃんが母乳を飲む光景に出逢った。そろそろ授乳の時間と察する母と求める赤ちゃんの至福のひとときが始まる。抱かれて安心しきってただ無心に乳を吸う児の何と無垢なことか。脇目も振らずに空腹を満たしている。この上ない幸せを感じているようだ。見ているほうもほっこりとした気分になせられる。そんな時どこからか母親へ声がかけられた。その時の赤ちゃん、乳は飲み続けてはいるものの声のあつた方を見る独特のまなざしに母子の大切な時間を一瞬奪われたという残念さのようなものを感じた。それでも二人の時間は続いている。誠に心の癒やされるひとときであった。

地位 春風を聞き分けて居る牛の耳

八尾とおる

第二次世界大戦のころ、食糧難が続いた。旧制中学生の時から私は夏休みになるとほとんど毎日、裏山のオシャコベ平の山林開墾に出かけた。開墾した約百三十七坪は、自分の所有地となった。その後、「黒部市くろべ牧場まきばの風」として生まれ変わったのである。平和が続く約八十年をさまざまな思いを胸にたびたび牧場を訪れる。「春風そよぶく空を見れば おぼろ月夜」に歌わ

れ、「春風駘蕩」というようにのどかにおだやかな風をいうことが多い。しかし牧場の風の一日は時には疾風も吹きすぎて微妙に変化する。それを聞き分けているのが私の愛する牛たちである。

人位 寒晴や連山白を荒削り

山本 正子

寒晴れの朝、空の青はいよいよ深く、昨夜新たに降った雪で山巒は凸凹が美しい。彫刻家が鑿を振り造り上げた作品のようである。

私はこの自然の成せる造形美を己の感動のままにどう表現したらよいか考えた。推敲を重ねたのは下五の「荒削り」という表現である。もっとしっくりくる表現があるように思えるが今の私の限界である。日々、そして年々移ろう自然の美しさに触れながら納得のいく言葉を模索していきたい。

私は黒部という大自然に抱かれ、季節の移ろいを肌で感じることでできる幸せを大切に、句を詠んでいきたいと願っている。

第四回
富山県現代俳句協会賞
*応募二十四作品



受賞

木の芽雨 飯干 ゆかり

染め出しの乳歯を覗く日永かな
運動会終へてテントの脚の束
見せかけの暖炉の灯クリスマス

準賞(応募順)

冬晴れ 河岸 佳子

この空のどこか剥がれてあて寒し
荒海の声聞きながら山眠る
肉厚の両手に弾く霞かな

一乗の風 西田 道代

上京を付き添う父と花の駅
キャンパスへ踏み出す一歩花明り
光る街出口を探す秋の蝶

受賞の言葉

協会賞 木の芽雨

飯干 ゆかり

作品群としての十五句は、手を離れてしまえば自作でありながら自分でないような不思議な感覚です。何気ない日々の繰り返しですが、その一瞬を掬いあげておけばいつかカタチになる、そんな気がします。

今回の〈運動会終へてテントの脚の束〉は、小学校の運動会で実際にテントを片付けた場面からです。じゃんけんで負けて泣き受けた役員でしたが、句の材料はいろいろなところに転がっていると気づかされます。

これからも自分の物差しでの偏りを点検しつつ、俳句の持つ普遍性、独創性を楽しみながら追求していきたいと思えます。

準賞 冬晴れ

河岸 佳子

まったくの素人から俳句の魅力にとりつかれ、十余年。物事をありのままじっと見つめ、そこから生まれてくる主情を詠むことと優しい先生の教へをうけ賞を戴けたことに感謝します。

この越の国に生を受け、どつぶり晩年を過しています。越中の四季でどうしても強い思いは、冬です。三八豪雪や荒海の怒涛の恐さ。今はどんどん海辺が侵食され、昔の砂浜はいずこやら。

でも立山剣岳の春夏秋冬は最高の美しさです。「井の中の蛙大海を知らず、されど空の青さを知る」。自分の狭い知識にとらわれずこれからも諸先輩の皆様の素晴らしい俳句に親しみながら、挑戦者とし、頑張れたらと思っています。

準賞 一乗の風

西田 道代

県現代俳句協会準賞のお知らせをいただき、夢のように一週間程お知らせを開いては眺めておりました。俳句歴は結構長いのですが、途中、仕事、介護と途切れる事も少しありました。良き師、家族、友の応援のもと続けてこられたと思っております。俳句のよかった所は日本の四季の美しさへの気づき、人々の営みや賢明さを学ばせていただいた事かと思えます。気がつけばかたわらにいてくれた俳句。これからは上手でもすばらしいでも表現できない「いいねえ」という作品に出会えるよう、ゆっくりと俳句作りを楽しめたらと考えております。ありがとうございました。

第61回現代俳句全国大会

作品募集

投句料の一部を能登半島地震の復興支援として寄付します。

◆応募規定

WEB投句はこちら↓

□投句料 3句一組・2千円

何組でも可。ただし、新作未発表作品に限る。

□3組9句同時投句に限り、6千円を5千円にいたします

前書き不可。所定用紙使用又はWEB。〒、住所、お名前、電話番号、協会員・会員外の別を明記。投句料は普通為替、定額小為替(無記名で)、現金書留(作品同封)、又は郵便払込(青い払込取扱票を使用)加入者名・一般社団法人現代俳句協会、振替口座番号0016016152603・振替払込受領証のコピーを投句用紙に必ず貼付してください。

□送付先 〒101-0021 東京都千代田区外神田6-15-14 借楽ビル外神田7階 一般社団法人 現代俳句協会 全国大会係 ☎03-33839181-90

□投句締切 7月31日必着(必着)

□顕彰 協会の会員誌『現代俳句』に優秀作品を発表するほか、協会刊行物に採録。

□賞 大会賞、後援団体賞、特別選者賞、秀逸賞、佳作。

□全国大会 令和6年11月16日(土)午後一時より

「ホテル日航奈良」〒630-8122 奈良県奈良市三条本町

8-11 ☎07421351883-1

□記念講演 坪内稔典氏「俳句の未来」

□講師 会長はじめ協会幹部

□懇親会 午後5時より(会費8千円)

【主催】一般社団法人 現代俳句協会

【後援】文化庁・毎日新聞社・朝日新聞社・読売新聞社